

総務厚生

社会人経験枠を設ける

6月11日に本委員会を開催し、平成22年度(旬)ケイエスしらたかの経営状況の報告を受けその後、

- ・病院の主要事業
- ・総務課関連事業
- ・平成22年度収納状況
- ・子育て支援拠点施設整備事業
- ・町民課関連事業

などについて所管事務調査を行いました。

子育て支援拠点施設整備では、こぐわ保育園とあゆかい保育園を統合し、子育て支援センターと鮎貝地区放課後児童クラブを併設する。また、民設民営で整備・運営していききたいとの説明がありました。

委員から、「経営的視点での具体策が乏しいのではないか。」との問いに対し、「スタッフの準備と保育の内容や運営について検討している。町営保育園の保育理念をベースに保護者と協議して

います。」との答弁がありました。

また、「建設予定地は、公共施設としての安全性はどうか。」との問いに「実施設計の段階で地盤調査を行います。」との答弁がありました。

病院事務局長から「地域住民から信頼される病院」を基本理念として、医療サービスの向上と経営の健全化に努めていきたいとの説明がありました。

委員から、「医師確保の改善状況は。」との問いに「常勤医師は昨年同様5名堅持している。研修医制度が4週間になったことで、県立中央病院他から13名が研修することになっているのである程度充足できる。整形外科関係は山形大学に働きかけたい。」との答弁がありました。



医師確保に期待 医師住宅
(元荒砥駐在所跡)

説明がありました。

上級行政職(一般枠)・上級専門職(土木)・保健師・初級行政職は同様であるが新しく上級行政職(社会人経験枠)を設ける。そのねらいは、職員の年齢バランスを考慮しての対応とこのことでした。